

平成31年2月26日

平成30年度 学校関係者評価報告書

学校法人 栗原学園
北見情報ビジネス専門学校
学校関係者評価委員会

学校法人栗原学園の学校関係者評価に関する規定に基づき、学校関係者評価委員会を実施しました。下記にその内容を公表いたします。今後も各評価委員からのご意見を真摯に受け止め、より良い教育を目指し学校教職員一同努力して参ります。

1. 開催日時 平成31年2月21日（木）18：30～
2. 場 所 北見情報ビジネス専門学校 1F会議室
3. 出席者 規程の委員および学校職員
4. 次 第
 - (1) 開会
 - (2) 理事長挨拶
 - (3) 学校関係者評価委員紹介
 - (4) 協議事項
 - ①学校の概要と現状
 - ②各校の取り組みと自己点検評価結果について
 - ③意見聴取
 - (5) 閉会

学校法人栗原学園 学校関係者評価委員会は平成30年度自己点検・自己評価報告書に基づいて学校関係者評価を実施し、以下のとおり報告いたします。

1. 学校関係者評価委員会

選出区分	氏名	任期	期数	就任時の職名等
卒業生	野口 富弘	29. 4. 1～ 31. 3. 31	1	特定非営利活動法人とむての森 常任理事
卒業生	藤田 茜	29. 4. 1～ 31. 3. 31	1	学校法人明和学園 認定こども園 保育園ステージ・こどもの国 主任
卒業生	宮野 汐里	29. 4. 1～ 31. 3. 31	1	医療法人社団 いのこ歯科医院 歯科衛生士
卒業生	秋山 裕晴	29. 4. 1～ 31. 3. 31	1	株式会社北見通運株式会社 管理部 管理課 主査
卒業生	坂井 浩	29. 4. 1～ 31. 3. 31	1	株式会社坂井印刷 代表取締役
学校関係者	棧 邦雄	29. 4. 1～ 31. 3. 31	1	学校法人栗原学園 学園長
学校関係者	坂下 孝江	29. 4. 1～ 31. 3. 31	1	オホーツク社会福祉専門学校 前校長

2. 基準項目ごとの学校関係者評価・意見

項 目	評 価
	北見情報ビジネス専門学校
基準1 教育理念・ 目標等	<p>・「誇りと勇気」という校訓を掲げ、学生基本姿勢の3本柱を設定している。このことに関しては、年度初めの父母協力会総会において保護者に周知するとともに、学生においては年度初めのオリエンテーションまたは長期休業前の全校集会において、具体的にどのように考え行動するかを周知している</p> <p>・委員会より 特に意見無し</p>
基準2 学校運営	<p>・年度当初に事業計画・予算の策定を行ったうえで、運営会議（学園経営会議、職員会議、教員会議）、朝礼を通じて、学校運営の進捗状況、課題等を全教職員が把握できるようにしている。</p> <p>また、業務データを1箇所に集約し、共有化することにより、担当でない教員が進捗等の確認することができ、年度替わりなどで担当が替った場合においては引き続き業務の漏れが無いように対策している。</p> <p>・委員会より 特に意見無し</p>
基準3 教育活動	<p>・企業連携について （総合事務科） 地域のニーズを把握し、インターンシップなどを通して、企業連携を強化している</p> <p>（情報通信科） 自治体、地元企業からの依頼による合同のモノづくりの実施、また、運営補助等の実施により連携を図る</p> <p>（ホテル観光ビジネス学科） 旅行代理店等による講話の実施、また、インターンシップを通して観光協会との連携を図る</p> <p>学習成績や単位認定については、年度当初全学生に対して教育要項等を活用し周知を図る</p> <p>公開授業の実施により、授業評価及び授業の質の向上を図る</p>

	<ul style="list-style-type: none"> ・委員会より 企業、病院等からの意見を取入れ、より実践的な内容のカリキュラムを実施して欲しい 評価体制に関して、普通との評価となっているがその原因はなにか、またそれに対する対策はあるか ・回答 今年度の公開授業の目的が「多くの授業を見学する」こととしていたためこの評価となったと考えられる。 次年度においては、公開授業実施前に目標や内容および指導方法について見学者へ周知し、より具体的な評価を行えるようにする
<p>基準 4 教育成果</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・地元の企業又は病院等との連携により就職率の向上を図っている 情報系においては、地元企業の採用は少ないが、首都圏、札幌等の企業が本校にて就職説明会または選考会を行うことにより、就職率の向上、また、学生の経済的負担を軽減できている 栗原学園協力会企業より、求人の案内をいただくことにより地元での採用が高くなっている 退学に関しては、退学率の高くなる1年次において、担任および教科担当との情報交換を実施し、その情報にもとづき保護者との連絡を密に行うことにより低減を図る ・委員会より 企業または病院等が、学校に求人を出すためのタイミング、方法などが明確に分かると、企業側としてもより求人を出しやすくなるためホームページでの公表などしてほしい ・回答 今後のホームページ更新にて検討させていただく

<p>基準5 学生支援</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ 経済的側面においては、栗原学園の奨学金など柔軟な対応を図っている <p>学生相談や保護者との面談等は主に担任が行い、就職などの指導は、担任や他の教員があたっている</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 委員会より <p>卒業生への支援体制について、卒業生の状況はどのように把握しているか</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 回答 <p>現状では、卒業生からの報告のみに頼っている状況であるため、卒業生に向けた求人案内等仕組み作りを策定していく</p>
<p>基準6 教育環境</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ 学生アンケートの実施や、教育環境（施設設備等）の整備等を毎年実施しており、アンケート結果からも改善されていることが伺える。 <p>次年度においては、パソコンの入替またソフトの導入など最新機器を取入れるための設備の整備を実施</p> <p>図書館においては、本校に無いため判断は不可</p> <p>防火対策については、避難経路上妨げとならない、物品を置かないことを徹底し、年2回の避難訓練を実施している</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 委員会より <p>万が一の危機に対する対策は必須であることから、教職員全員が不測の事態に対する危機意識を継続して持ってほしい</p>
<p>基準7 学生の募集と受入</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ 学生数は微増ではあるが、近年社会人枠の学び直し制度の受入れ等、様々な年代の学生を受け入れており、柔軟な対応が求められる <ul style="list-style-type: none"> ・ 委員会より <p>18歳人口の減少により今後学生募集が大変厳しくなってくるが、地域のニーズに応える学校運営を行うことにより頑張りたい</p> <p>定員を満たしていない状況にあるが、対応策はあるか</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 回答 <p>近隣の高校訪問により、本校の周知を図っている。また今年度よ</p>

	<p>り根室方面へのアプローチを強化している。更に、オホーツク社会福祉専門学校との合同オープンキャンパスの実施し、高校生が参加しやすい環境を整え、栗原学園のさらなる周知を強化している。</p> <p>さらには、中学生のインターンシップ受入れ、高校生の職業講話の依頼受入など他方面からも本校について理解をしていただく取り組みを増やしている</p>
<p>基準 8 財務</p>	<p>・ 学生数の増加により財政状態は収支のバランスを見ても健全運営がなされていると判断する</p> <p>・ 委員会より 特に意見等無し</p>
<p>基準 9 法令等の遵守</p>	<p>・ ホームページに情報公開、定期的にコンプライアンスに関する確認を行う。また個人情報に関しても同様取扱いの徹底を行い重要書類等については鍵付きのロッカーにて保管している</p> <p>・ 委員会より 特に意見等無し</p>
<p>基準 10 社会貢献</p>	<p>・ 学園全体で地域貢献の一つとして、地元の夏祭りに全校参加、また地域イベントのボランティア活動、選挙啓発活動など、ボランティア精神の育成を図っている、更に、アジア国際子ども映画の運営手伝い等コミュニケーション力を育成する事業にも参加している</p> <p>・ 委員会より 北見市や市内企業との連携を引き続き推し進めることにより、より強固つながりをもち、学校運営に役立ててほしい</p>

3. 学校関係者評価 全体的な総括について

<p>自己点検・自己評価報告書を見ての全体的な意見</p>	<p>学校運営は高い水準で維持されている。今後この委員会評価が意義あるものにするため、学生アンケート、学校職員自己点検・自己評価に対して学校が全体評価を行い、それを委員が総体的に評価することでより良い学校になるための取組を継続して行うことを希望する</p>
-------------------------------	--

平成30年度 北見情報ビジネス専門学校 自己点検・自己評価報告書

評価項目

(1) 教育理念・目標等

		点数
1	理念・目標・育成人材は定められているか	5
2	社会のニーズ等を踏まえた学園の構想を抱いているか	5
3	理念・目標・育成人材像・特色などが学生・保護者等に周知されているか	4

(2) 学校運営

4	目標等に沿った運営方針が策定されているか	5
5	運営組織は明確にされ、有効に機能しているか	2
6	情報システム等による業務の効率化が図られているか	4
7	学園内総合力を高めるための連携と協働体制の確立が図られているか	4
8	教育活動に関する情報公開が適切になされているか	4

(3) 教育活動

9	教育理念・育成人材像や業界のニーズを踏まえた教育機関として修業年限等に対応した教育到達レベルや学習時間の確保は明確にされているか	4
10	学園行事の適切な企画、円滑な運営がなされているか。	4
11	授業規律を確保し、指導体制の立て直しが図られているか	3
12	関連分野の企業、関連施設等、業界団体等の連携により、教育課程の作成、見直しが行われているか	4
13	成績評価、単位認定の基準は明確になっているか	5
14	授業評価の実施、評価体制があるか	3
15	職員の能力開発のための研修が行われているか	4
16	クラス担任と教科担任の連携を密にし、学生の実態にあった指導法の確立に努めているか	4

(4) 教育成果

17	就職率の向上は図られているか	5
18	退学率の低減は図られているか	4
19	卒業生・在校生の社会的な活動及び評価を把握しているか	4

(5) 学生支援

20	学生相談に関する体制は整備されているか	4
21	学生の経済的側面に対する支援は整備されているか	5
22	保護者と適切に連携しているか	5
23	卒業生への支援体制はあるか	3
24	LHRなどを効果的に活用し、職業観の育成に努めているか	5
25	社会のニーズを踏まえた教育環境が整備されているか	4
26	学生が自己理解、自己啓発、自己実現をするための方策が整備されているか	4

(6) 教育環境

27	施設・設備は、教育上の必要性に十分対応できるように整備されているか	4
28	図書室利用の活性化が図られているか	3
29	防災に対する体制は整備されているか	5

(7) 学生募集

30	学生の募集は適切に行われているか	4
31	学生募集活動について、教育成果は正確に伝えられているか	4

(8) 財務

32	財務情報の情報公開に対して周知がなされているか。	4
33	学生在籍数に対して適切な財務運営がなされているか。	5

(9) 法令等の遵守

34	法令、専門学校設置基準等の遵守と適切な運営がなされているか	5
35	個人情報に関し、その保護のための対策がとられているか	4

(10) 社会貢献・地域貢献

36	学校の教育資源や施設を活用した社会貢献・地域貢献を行っているか	4
37	学生ボランティア活動を奨励・支援しているか	5

※評価基準は5段階で行う。 適切－5 ほぼ適切－4 普通－3 やや適切－2 不適切－1